

2020年度

定時總會資料

2020年9月4日（金）



一般社団法人 館山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality; and

That service to humanity is the best work of life.

JCI Mission

To provide development opportunities

that empower young people to create positive change.

(青年が積極的な変革を創造し開拓するために、能動的に活動できる機会を提供する。)

JCI Vision

To be the leading global network of young active citizens.

(青年の行動的市民活動を支援する国際的なネットワークをもつ先導的機関となる)

『J C 宣言』

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き個人の自立性と
社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれ J A Y C E E は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、
相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

関東地区宣言

わたしたちは日本の礎として あらゆる未来をみつめ 多様性溢れる 仲間と共鳴し
新たな価値の創造により 新時代の旗手となることを誓う

2020年度 一般社団法人 館山青年会議所定時総会式次第

日時：2020年9月4日（金）

場所：早川建設 館山いえづくりBASE

司会：佐藤 渉

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1、点鐘 | 理事長（矢上 真吾） |
| 2、開会の辞 | 副理事長（川名 義人） |
| 3、国歌斉唱 | 割愛 |
| 4、JCソング斉唱 | |
| 5、JCI Creed唱和 | |
| 6、JCI Mission並びに、JCI Vision 唱和 | |
| 7、JC宣言文朗読並びに綱領唱和 | |
| 8、関東地区宣言唱和 | |
| 9、来賓、特別会員、オブザーバー紹介 | 専務理事（早川 剛史） |
| 10、2020年度理事長挨拶 | 理事長（矢上 真吾） |
| 11、入会式 | |
| 12、総会成立報告 | 事務局長（本間 充） |
| 13、議長選出 | |
| 14、議事録作成人及び議事録署名人選出 | 議長 |
| 15、議事 | |
| 第1号議案 2020年度事業中間報告承認の件(P5) | 専務理事（早川 剛史） |
| 第2号議案 2020年度第2次修正予算(案)承認の件(P10) | 財政局長（青木 崇） |
| 第3号議案 2020年度会計中間報告承認の件(P11) | 〃 |
| 第4号議案 2021年度理事長予定者承認の件(P14) | 理事長（矢上 真吾） |
| 第5号議案 2021年度理事・監事予定者承認の件(P14) | 2021年度理事長予定者
アチーブメント株式会社 |
| 16、基調講演 | |
| 17、監事講評 | 監事（千原 清之） |
| 18、閉会の辞 | 副理事長（大橋 直人） |
| 19、点鐘 | 理事長（矢上 真吾） |

〈 2020年度 公益社団法人 日本青年会議所 スローガン 〉

真実一路

軌跡を紡ぎ、奇跡を起こそう！

〈 2020年度 関東地区協議会 基本理念 〉

紡がれた広がりの変化の起点となる

ブランディングされた関東の創造

〈 2020年度 千葉ブロック協議会 基本理念 〉

自立と調和の精神が織り成す

笑顔溢れる 強い千葉の創造

〈 2020年度 一般社団法人 館山青年会議所 〉

ICHIGAN(一丸)

青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、“修練・奉仕・友情”の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。

会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていけます。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

国際青年会議所（JCI）について

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足。その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一步を踏み出しました。会員数17万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上ものOBがいます。毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

2020年度

事業報告並びに会計中間報告

2020年度事業中間報告

一般社団法人館山青年会議所
2020年度 理事長 矢上 真吾

現在はVUCA(Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字)の時代と言われていますが、昨年に引き続き今年もまさに”予測がつかない”1年となっております。

新型コロナウイルス(COVID-19)が猛威をふるい、日本政府が緊急事態宣言を出したのが4月7日。そこから約2か月に渡り、日本の経済活動は止まりました。

各種団体、組織の活動も休止、中止が相次ぎ、私たち館山青年会議所も例外ではなく、3月から6月までの例会を中止する事になりました。

この新型コロナウイルスが私たちにもたらしたのは、一体何なのでしょう？

ただただ失われた3ヶ月だったのでしょうか？

私は、違うと感じています。この3ヶ月間は、今後も”予測がつかない”時代を生き抜くために必要であり、変化のための時間だったと言えます。

中間報告と言うことで、改めてこの6ヶ月間を振り返りたいと思います。

今年は、新しい試みとして新年総会と新年祝賀会を分けて実施しました。

新年総会では、総会の後に第46第理事長安田憲史先輩による基調講演を開催しました。JC活動により地域に貢献すると共に自己の研鑽に努め、ご自身の事業においても成果を上げられている安田先輩の講演は、メンバーが青年会議所活動に意義を見出し、JCに所属していることに価値を感じられる素晴らしい講演でした。

2月例会として行われた新年祝賀会は、多くの御来賓の方と県内より駆けつけてくれた各地会員会議所の仲間たち、そして先輩方と合わせて160名の方にお越し頂き、2020年の館山青年会議所の活動方針をお披露目させて頂きました。

新年祝賀会の2日後には、会員拡大の新たな試みとして、第1回拡大会議と称した事業を行いました。普段よりもフランクな形で行い、オブザーバー3名の方と交流を深める事が出来ま

した。今後も不定期になりますが拡大会議を続けていき、仲間を増やしていきたいと思いません。

そして、継続事業として日本赤十字社主催の献血事業を実施しました。悪天候の中多くの方にご協力頂けましたが、設営の方法など課題の見える事業となりました。

3月には新型コロナウイルスを受けてどのように対策をすれば良いのかをテーマにして新型コロナウイルスとWEBの活用方法についての事業をZOOMを使用して実施しました。

ここから事業例会は延期となりましたが、その中でも新たな試みとなっている事、そして今後実施していく事をご紹介します。

まずはZOOMを使用した理事会のオンライン開催です。予定者の段階から正副理事長会議では既に実施していたため、比較的スムーズにオンライン理事会を行うことが出来ました。今後の方針として、どんな状態の方でも、安心、納得して活動ができるようにオフラインとZOOMなどのオンラインを併用して活動していきたいと思えます。

また、事業が延期してしまい、未だ実施をしていませんが、小さな子供がいても活動できるように、例会事業の際に託児所の設置を行っていきます。

外部での活動が制限された中であれば、内部の整備を行い、全開で活動出来る時のために今出来る最善策を考え、行ってきました。

これから下半期、まだまだ予断は許しませんが、どんな状況でも地域をより良くするために出来ること、やるべき事を肅々と、メンバー一丸となって実行していきます。

最後に、今起きている事をどう捉えるかは我々次第です。そしてこの一年間も一度きりです。この一年が終わった時に、『大変な一年だったけど、充実した年だった』『成長できた』『地域のためになることができた』と胸を張って言えるように毎日を過ごしていきましょう！

我々はまだ、成長途中！もっと良くなります！もっと良くなっていきましょう！

委員会名： 総務委員会

委員長：本間 充

2020年度、総務委員会では、理事長の掲げたスローガン「ICHIGAN（一丸）」に基づき活動しております。

1月の新年総会は、2月に祝賀会を予定していたことから、メンバーのみの開催とさせていただきますでしたが、総会資料の電子化等の新しい試みを実施しながらも厳粛な会を執り行うことができました。また、総会后には、歴代理事長であるシニアクラブ安田憲史先輩を講師にお招きし、「今に生きるJCでの学び」と題したJCと仕事を繋ぐ基調講演を実施しました。この基調講演によって、メンバーがより一層JC活動への価値を見出し、ICHIGANとなって活動に取り組んでいこうという気持ちを持つことができたと考えます。

今後の活動として、9月の定時総会を開催致します。新型コロナウイルス感染防止への配慮をしつつ、滞りなく実施できるよう進めて参ります。また、総会后に予定しております、JCと仕事を繋ぐ基調講演におきましても、聴講したメンバーがJC活動にさらに魅力を感じ、主体的に活動に参加できるような内容で準備して参ります。よろしくお願い致します。

委員会名： 会員開発委員会

委員長：田村 臣希

2020年度、会員開発委員会では、理事長の掲げたスローガン「ICHIGAN（一丸）」に基づき活動しております。

本年度は、会員拡大を委員会運営の最優先事項と考え活動しておりますが、先の新型コロナウイルスの感染拡大による活動自粛や制限もあり、目標としていた100%の拡大ペースには難しく、現段階では2名の拡大となっております。

2月例会として、新年祝賀会を開催させて頂きました。本年度は館山青年会議所としては、新年総会と新年祝賀会を分けての初めての開催としたにも関わらず、シニアクラブ、御来賓の皆様、各地会員会議所のメンバー合計160名もの多くのご参加を頂きました。不慣れな為、拙い設営もありましたが、矢上理事長、そして鈴木ブロック会長の1年のスタートを華々しく飾ることが出来たと思います。

今後の活動としては、引き続き会員拡大に全力を尽くす事と、12月の会員教育例会があります。このような時代になってしまいましたが、そこをポジティブに捉え、今まで以上に地域社会の役に立てる青年会議所を広報し、共感していただける仲間を増やす機会でも考えております。100%の拡大は、なかなか難しいかもしれませんが、最後まで諦めずに、残された期間を1人でも多くの会員を増やす為に活動をして参ります。そして、今まで卒業式的存在でありました12月例会では、多くの本年度の新入会員を迎え、卒業される先輩方が、安心して卒業できるような形を作りたいと思います。

委員会名： 社会開発委員会

委員長：川名 悠示

2020年度、社会開発委員会では理事長の掲げた「ICHIGAN（一丸）」のスローガンを念頭に活動しております。

2月に青年会議所活動の恒例事業の一つでもある献血事業を行いました。赤十字社の方々、メンバーそれぞれご協力で目標人数を達成することができました。必要とされる方々がいる。貢献しようとする方々がいる。この関係で成り立っている青年会議所活動の基本の一つだと感じられました。

今後の活動としましては、7月15日には政治・選挙についての例会を行います。仕事や血縁等それぞれの背景に即した理由ではなく、地域・社会に暮らす我々の共通の視点から政治選挙へ参画していく意義を学ぶことができる例会を作ります。メンバー1人ひとりが、今この地域にどのような政策が必要で、誰に旗振りを任せるのかを「自分の意志・判断」によって責任を持ち決めていく姿勢を学びます。

10月の例会では、これからの地域を担う若者たちへ政治・選挙の意義を伝え、この地域に意義を伝える発信者を育てていきます。自らで考え行動出来る人を増やすことが今後の地域の問題や未来をともに考えて行く上で重要な課題であると考えます。

コロナウィルス感染症の影響のある中当初予定していた活動が行えませんでした。今後の活動の中でこれからの状況に合わせた新しい活動の形を構築して参ります。

これからも社会開発委員会メンバーICHIGANとなり、変化していくこの地域の課題に対して取り組んで参ります。今後ともよろしくお願ひします。

委員会名： 人間力開発委員会

委員長：須原 邦明

2020年度、人間力開発委員会では理事長の掲げた「ICHIGAN（一丸）」のもと、「自己肯定感」というテーマを設定し活動する予定でした。

1月には京都会議を設営させていただきました。参加いただけただけの方々は多くありませんでしたが、当委員会からも2名が、京都会議に参加させていただきJCIが持つ使命や日本の最先端のビジネスの取り組みを学ぶことが出来ました。

4月例会は、日本セルフエスティーム普及協会 代表理事の工藤 紀子氏をお招きし、「自己肯定感」について講演会を開催する予定で1月から準備を進めて参りました。しかし、3月から世界的に新型コロナウイルスの感染が広がったことの影響を受け、4月例会が8月に延期、8月例会中止、下半期は11月例会という形になりました。

一方で例年では経験できないことも多く経験させていただきました。密接・密閉・密集を作らない・移動の規制・世界的な経済の停滞という与えられた条件の中で、いかに当委員会として活動できるかを皆で考え、相談し、知恵を絞ったことは、素晴らしい経験になったと感じました。

4月例会（8月開催）に関しましても、講師を招いての初のインターネットを使ったオンライン講演会という形で開催できるよう、準備を進めております。これも委員会メンバー及び、館山JCのメンバーの方々のご協力とアドバイスがあったからこそだと考えます。

1年の半分以上が過ぎ、新型コロナウイルスの動向も定まりませんが、11月例会も与えられた環境において、委員会メンバーで協力し、知恵を出し合いベストを尽くしたいと考えています。1年の最後には、皆で「よい1年だった」と言えるようになっていたいと思います。

(単位:円)

科 目	2020年度 第1次修正予算	2020年度 第2次修正予算	摘 要
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0	0	
特定資産利息収入	0	0	
②会費収入	3,870,000	4,090,000	
正会員会費収入			
基本金収入	3,720,000	3,900,000	120,000円×31名、100,000円×1名、80,000円×1名
付加金収入	150,000	190,000	
【付加金収入内訳】			
新入会員入会金	0	40,000	20,000円×2名
新入会員予定金	0	0	
特別会員会費	140,000	140,000	20,000円×7名
賛助会員会費	10,000	10,000	
賛助会員予定金	0	0	
特定会費収入	0	0	
③事業収入	0	0	
登録料収入	0	0	事業収入(キャンプ参加費・登録料等)
懇親会収入	0	0	
広告料収入	0	0	
販売収入	0	0	
雑収入	0	0	
④受取補助金等収入	0	0	
国庫補助金収入	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	
民間補助金収入	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	
国庫助成金収入	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	
民間助成金収入	0	0	
⑤受取負担金収入	0	0	
受取負担金収入	0	0	
⑥受取寄付金収入	200,000	200,000	
受取寄付金収入	200,000	200,000	シニア通信費
受取募金収入	0	0	
⑦雑収入	0	0	
受取利息収入	0	0	受取利息
その他雑収入	0	0	自動販売機販売収入等
⑧他会計からの繰入金収入	0	0	
日本JCB本体会計からの繰入金収入	0	0	JCIクレジットカードによるLOM還元金
地区・ブロック協議会からの繰入金収入	0	0	
その他地区ブロックからの繰入金収入	0	0	
周年積立預金取崩収入	0	0	
事業特別基金取崩収入	0	0	
災害支援特別基金取崩収入	0	0	
⑨前期からの繰入金	1,110,000	1,110,000	
前期からの繰入金	1,110,000	1,110,000	
事業活動収入計	5,180,000	5,400,000	
2. 事業活動支出			
①事業費支出	1,482,035	1,482,035	
事業費支出	1,482,000	1,482,000	
補助金支出	0	0	
事業予備費支出	35	35	
②管理費支出	2,107,000	2,291,970	
会議費支出	130,000	130,000	65000*2(新年総会・定時総会)
給料手当支出	0	0	
俸給支出	0	0	
手当支出	0	0	
臨時雇用賃金支出	0	0	
退職給付手当支出	0	0	
福利厚生費支出	0	0	
法定福利費支出	0	0	
福利費支出	0	0	
厚生費支出	0	0	
旅費交通費支出	0	0	
通信運搬費支出	0	0	
電話代支出	140,000	140,000	FAXを含む
運搬代支出	0	0	
その他通信費支出	50,000	50,000	郵送料(周年切手を使用)
図書・研修支出	180,000	180,000	JC手帳・本
消耗品支出	180,000	280,000	旧事務消耗品費、消耗品費
リース料支出	0	0	
賃借料支出	480,000	480,000	事務局40,000*12ヶ月
修繕支出	0	0	
印刷製本費支出	156,000	156,000	コピー機代金(13,000*12ヶ月)
業務委託支出	240,000	240,000	ホームページ更新料(20000)・浄化槽(70000)
保険料支出	0	0	
租税公課	0	0	
固定資産税	0	0	
その他の租税公課	0	0	
渉外費	300,000	384,000	旧渉外費+慶弔費
水道光熱費支出	180,000	180,000	
支払手数料支出	10,000	10,000	旧事務雑費(振込手数料)
雑支出	60,000	60,970	登記事項変更
管理・運営予備費支出	1,000	1,000	管理費支出の3%以内

③負担金支出	1,390,965	1,425,995	
加盟団体会費支出	1,109,965	1,132,995	
【加盟団体会費支出内訳】			
日本JC会費(付加金含)	185,000	195,000	5,000円×33名+基本料30,000
JCI会費	52,390	55,770	1,690円×33名
国際協力資金	56,575	60,225	1,825円×33名
日本JC出向者負担金	20,000	20,000	20,000*1名
We Believe購読料	93,000	99,000	3,000円×33名
日本JC追加会費	0	0	
JC関係費	75,000	75,000	新入会員47名×レート・バッジ
日本JC全国大会	620,000	620,000	
日本JC京都会議負担金	8,000	8,000	
地区会費支出	281,000	293,000	
【地区会費支出内訳】			
関東地区協議会会費	41,000	43,000	1000円×33名+基本料10,000円
関東地区協議会大会	0	0	
ブロック協議会会費	82,000	86,000	2,000円×33名+基本料20,000円
ブロック大会	93,000	99,000	事業費 3,000円×33名
地区予備費	65,000	65,000	LOM13,000円+役員13,000円×4名
④他会計への繰入金支出	200,000	200,000	
日本JC本体会計への繰入金支出	0	0	
地区・ブロック協議会への繰入金支出	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	
退職給付手当積立金支出	0	0	
事業特別基金支出	0	0	
周年事業積立金支出	200,000	200,000	
災害支援特別基金	0	0	
事業活動支出計	5,180,000	5,400,000	
事業活動収支差額	0	0	
科目	2020年度 第1次修正予算	2020年度 第2次修正予算	摘要
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	
〇〇事業引当資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(特定資産)	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	
什器備品売却収入	0	0	
③固定資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(その他資産)	0	0	
〇〇基金引当資産取崩収入	0	0	
④敷金・保証金戻り収入	0	0	
敷金戻り収入	0	0	
保証金戻り収入	0	0	
投資活動収入計	0	0	
2. 投資活動支出計			
①特定資産取得支出	0	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	
〇〇事業引当資産取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0	0	
②固定資産取得支出	0	0	
建物付属設備取得支出	0	0	
什器備品取得支出	0	0	
プログラム開発費取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出(その他資産)	0	0	
災害基金引当資産取得支出	0	0	
③敷金・保証金支出	0	0	
敷金支出	0	0	
保証金支出	0	0	
投資活動支出計	0	0	
投資活動収支差額	0	0	
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入	0	0	
財務活動収入計	0	0	
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出	0	0	
財務活動支出計	0	0	
財務活動収支差額	0	0	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

(単位:円)

科目	2020年度 第2次修正予算	2020年度 中間報告	摘要
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0	0	
特定資産利息収入	0	0	
②会費収入	4,090,000	2,870,000	
正会員会費収入			
基本金収入	3,900,000	2,730,000	120,000円×31名、100,000円×1名、80,000円×1名
付加金収入	190,000	140,000	
【付加金収入内訳】			
新入会員入会金	40,000	0	20,000円×2名
新入会員予定金	0	0	
特別会員会費	140,000	140,000	20,000円×7名
賛助会員会費	10,000	0	
賛助会員予定金	0	0	
特定会費収入	0	0	
③事業収入	0	0	
登録料収入	0	0	事業収入(キャンプ参加費・登録料等)
懇親会収入	0	0	
広告料収入	0	0	
販売収入	0	0	
雑収入	0	0	
④受取補助金等収入	0	0	
国庫補助金収入	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	
民間補助金収入	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	
国庫助成金収入	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	
民間助成金収入	0	0	
⑤受取負担金収入	0	0	
受取負担金収入	0	0	
⑥受取寄付金収入	200,000	0	
受取寄付金収入	200,000	0	シニア通信費
受取募金収入	0	0	
⑦雑収入	0	4,504	
受取利息収入	0	7	受取利息
その他雑収入	0	4,497	自動販売機販売収入等
⑧他会計からの繰入金収入	0	0	
日本JCB本体会計からの繰入金収入	0	0	JCBクレジットカードによるLDM還元金
地区・ブロック協議会からの繰入金収入	0	0	
その他地区ブロックからの繰入金収入	0	0	
周年積立預金取崩収入	0	0	
事業特別基金取崩収入	0	0	
災害支援特別基金取崩収入	0	0	
⑨前期からの繰入金	1,110,000	1,110,000	
前期からの繰入金	1,110,000	1,110,000	
事業活動収入計	5,400,000	3,984,504	
2. 事業活動支出			
①事業費支出	1,482,035	71,000	
事業費支出	1,482,000	71,000	
補助金支出	0	0	
事業予備費支出	35	0	
②管理費支出	2,297,970	714,523	
会議費支出	130,000	55,498	65000*2(新年総会・定時総会)
給料手当支出	0	0	
俸給支出	0	0	
手当支出	0	0	
臨時雇用賃金支出	0	0	
退職給付手当支出	0	0	
福利厚生費支出	0	0	
法定福利費支出	0	0	
福利費支出	0	0	
厚生費支出	0	0	
旅費交通費支出	0	0	
通信運搬費支出	0	0	
電話代支出	140,000	35,209	FAXを含む
運搬代支出	0	0	
その他通信費支出	50,000	0	郵送料(周年切手を使用)
図書・研修支出	180,000	179,100	JC手帳・本
消耗品支出	280,000	76,080	旧事務消耗品費、消耗品費
リース料支出	0	0	
賃借料支出	480,000	240,000	事務局40,000*12ヶ月
修繕支出	0	0	
印刷製本費支出	156,000	25,847	コピー機代金(13,000*12ヶ月)
業務委託支出	240,000	0	ホームページ更新料(20000)・浄化槽(10000)・
保険料支出	0	0	
租税公課	0	0	
固定資産税	0	0	
その他の租税公課	0	0	
渉外費	390,000	20,000	旧渉外費十慶弔費
水道光熱費支出	180,000	71,839	
支払手数料支出	10,000	3,190	旧事務雑費(振込手数料)
雑支出	60,970	7,760	登記事項変更
管理・運営予備費支出	1,000	0	管理費支出の3%以内

③負担金支出	1,419,995	693,547	
加盟団体会費支出	1,132,995	412,547	
【加盟団体会費支出内訳】			
日本JG会費(付加金含)	195,000	185,000	5,000円×33名+基本料30,000
JCI会費	55,770	49,972	1,690円×33名
国際協力資金	60,225	56,575	1,825円×33名
日本JG出向者負担金	20,000	20,000	20,000×1名
We Believe購読料	99,000	93,000	3,000円×33名
日本JG追加会費	0	0	
JG関係費	75,000	0	新入会員ネームプレート・バッジ
日本JG全国大会	620,000	0	
日本JG京都会議負担金	8,000	8,000	
地区会費支出	287,000	281,000	
【地区会費支出内訳】			
関東地区協議会会費	43,000	41,000	1000円×33名+基本料10,000円
関東地区協議会大会	0	0	
ブロック協議会会費	86,000	82,000	2,000円×33名+基本料20,000円
ブロック大会	93,000	93,000	事業費 3,000円×33名
地区予備費	65,000	65,000	LOW13,000円+役員13,000円×4名
④他会計への繰入金支出	200,000	0	
日本J C本体会計への繰入金支出	0	0	
地区・ブロック協議会への繰入金支出	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	
退職給付手当積立金支出	0	0	
事業特別基金支出	0	0	
周年事業積立金支出	200,000	0	
災害支援特別基金	0	0	
事業活動支出計	5,400,000	1,479,070	
事業活動収支差額	0	2,505,434	
科目	2020年度 第2次修正予算	2020年度 中間報告	摘要
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	
〇〇事業引当資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(特定資産)	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	
什器備品売却収入	0	0	
③固定資産取崩収入	0	0	
減価償却引当資産取崩収入(その他資産)	0	0	
〇〇基金引当資産取崩収入	0	0	
④敷金・保証金戻り収入	0	0	
敷金戻り収入	0	0	
保証金戻り収入	0	0	
投資活動収入計	0	0	
2. 投資活動支出計			
①特定資産取得支出	0	0	
退職給付引当資産取得支出	0	0	
〇〇事業引当資産取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出(特定資産)	0	0	
②固定資産取得支出	0	0	
建物付属設備取得支出	0	0	
什器備品取得支出	0	0	
プログラム開発費取得支出	0	0	
減価償却引当資産取得支出(その他資産)	0	0	
災害基金引当資産取得支出	0	0	
③敷金・保証金支出	0	0	
敷金支出	0	0	
保証金支出	0	0	
投資活動支出計	0	0	
投資活動収支差額	0	0	
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入	0	0	
財務活動収入計	0	0	
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出	0	0	
財務活動支出計	0	0	
財務活動収支差額	0	0	
当期収支差額	0	2,505,434	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	2,505,434	

第4号議案

2021年度理事長予定者

記

2021年度第53代理事長予定者

早川 剛史

第5号議案

2021年度理事・監事・顧問 予定者

記

理事(現)

川名 義人 大橋 直人 早川 剛史 御子神 崇裕

青木 崇

理事(新)

千原 清之 小金 篤史 高瀬 直也 福原 巧太

望月 大輝

監 事

吉田 真司(外) 矢上 真吾

顧 問

鈴木 照久

付 属 資 料

例会・事業スケジュール

	理事会	例会	正副	じゃがいも	会員会議所
1月	10	15	24		25 (鶴山)
2月	7	12	22		24 (かずさ)
3月	6		20		
4月	10		24	19	25 (船橋)
5月	8		22		23 (東金)
6月	12		26	3	21 (佐倉)
7月	10	15	24		25 (我孫子)
8月	7	25	21	26	
9月	11	4	25		19 (八千代)
10月	9	14	23		24 (八日市場)
11月	6	11	20	14	22 (千葉)
12月	4	16	18		12 (銚子)

日本JC

ブロック事業

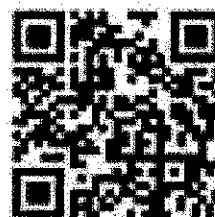
京都会議 1月16日～19日 賀詞交換会 1月7日

金沢会議 2月21日～23日

ASPAC 8月20日～23日

全国大会 9月24日～27日

世界会議 11月3日～7日



<https://www.tateyamajc.or.jp/schedule>

2020 年度 総会及び例会・事業報告

2020年1月～6月

例 会	月 日	例 会 内 容	担 当 委 員 会
新年総会	1月15日	2020年度 新年総会	総務委員会
2月例会	2月12日	2020年度 新年祝賀会	会員開発委員会

2020年度 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区 千葉ブロック協議会 出向者一覧

1		会長	スズキ テルヒサ 鈴木 照久
2		運営専務	チハラ キヨユキ 千原 清之
3	事務局	事務局長	モチヅキ ダイキ 望月 大輝
4	事務局	財政局長	サトウ ワタル 佐藤 渉
5	事務局	事務局員	ミコガミ タカヒロ 御子神 崇裕
6	事務局	事務局員	コガネ アツシ 小金 篤史
7	事務局	事務局員	アオキ タカシ 青木 崇
8	事務局	事務局員	タカギ ナオキ 高木 直樹
9	アカデミー委員会	委員	バトフヤグ ナンデンビレグ バトフヤグ ナンデンビレグ
10	アカデミー委員会	委員	バトムンク ムンクボルロ バトムンク ムンクボルロ
11	アカデミー委員会	委員	タカセ ナオヤ 高瀬 直也
12	アカデミー委員会	委員	スハラ クニアキ 須原 邦明
13	アカデミー委員会	委員	アオキ タカヒロ 青木 啓明
14	アカデミー委員会	委員	カワナ ヨシヒト 川名 義人
15	ブロック大会委員会	委員	イシイ トモユキ 石井 智将
16	ブロック大会委員会	委員	ハヤカワ タケシ 早川 剛士
17	ブロック大会委員会	委員	ホンマ ミツル 本間 充
18	広報拡大委員会	委員	イナバ マナ 稲葉 摩名
19	広報拡大委員会	委員	タムラ マサキ 田村 臣希
20	広報拡大委員会	委員	フクハラ コウタ 福原 巧太
21	連携推進委員会	委員	オオハシ ナオト 大橋 直人
22	連携推進委員会	委員	サトウ ユウスケ 佐藤 裕介
23	連携推進委員会	委員	カワナ ユウジ 川名 悠示